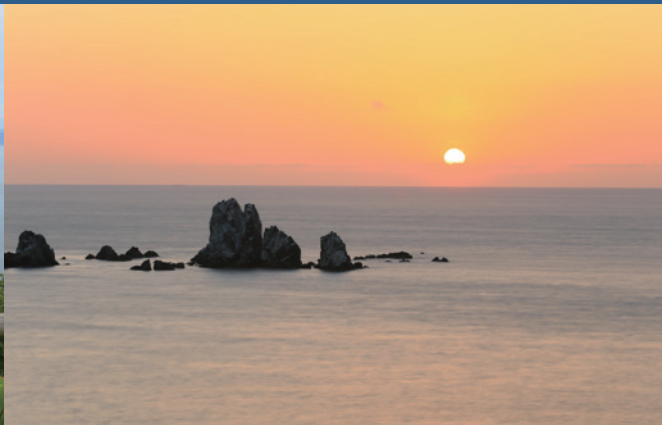




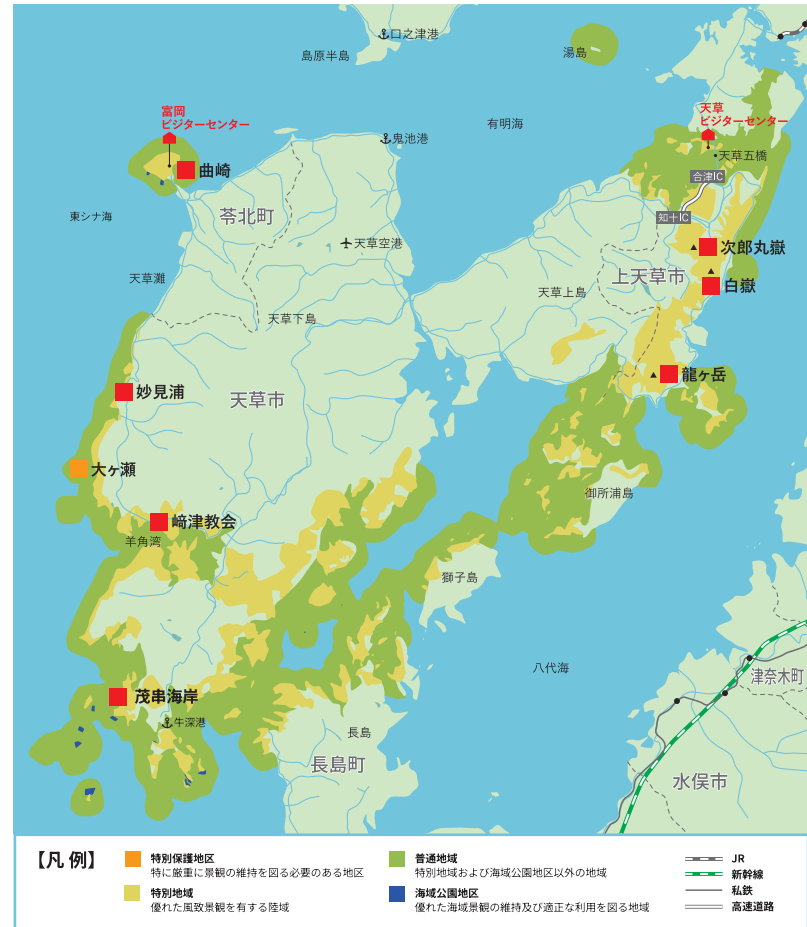
雲仙天草国立公園  
天草地域  
Story Book



# contents

はじめに	P1
雲仙天草国立公園天草地域の概要	P1
ストーリーブックとは	P2
雲仙天草国立公園天草地域のストーリー	P3
天草地域の重要な資源	P4 ~ 5
天草地域を訪れる方に体験してほしいこと	P6 ~ 7
天草地域ならではの価値	P8
① 大地の隆起・沈降が生んだ景観	P9 ~ 13
② 海と水の循環が育む生態系と食文化	P14 ~ 18
③ 自然と共に生きてきた人々の歴史・信仰・暮らし	P19 ~ 23
ストーリーブックの使い道	P24
環境省が実施している保全・利用の取り組み	P25

# 雲仙天草国立公園 天草地域



# はじめに

本書は、雲仙天草国立公園天草地域でお客様をお迎えする「すべての関係者の皆様」に向けて、お客様にお伝えしたい、感じていただきたい天草らしさ(天草ならではの魅力・価値)を整理したストーリーブックです。

ここでいう「関係者」とは、直接・間接を問わず、お客様と天草をつなぐすべての方々を指しています。

天草地域には、美しい海と島々の風景、豊かな海の恵み、キリシタンの歴史をはじめとする深い文化、そして自然とともに生きてきた人々の暮らしがあります。一方で、これらの魅力が十分に伝わりきらず、短時間の滞在や限られた体験にとどまってしまう場面も少なくありません。

そこで重要となるのが、地域の自然・歴史・文化・暮らしといった多様な豊富な資源を「物語(ストーリー)」として伝え、お客様と結びつけていく「インタープリテーション」の考え方です。単に景色を「見る」、名所を「巡る」観光にとどまらず、天草で生きてきた人々の営みや、自然との関わりの中で育まれてきた価値を感じていただくことで、より深く心に残る体験が生まれます。

本書は、天草地域ならではの「物語」を共有し、関係者一人ひとりがそれぞれの立場で語り、伝えていくための共通の土台として作成されました。お客様に何を伝えたいのか、天草のどんな魅力に気づいてほしいのかを言葉にし、地域全体で共有することで、持続的で満足度の高い観光地づくりにつなげていくことを目指しています。

この取り組みは、天草地域の多くの観光事業者や住民の皆様とともに進めてきました。足元にある大切な資源を見つめ直し、対話を重ねながら、他の地域にはない「天草ならではのストーリー」を紡いでいます。

本書が、より多くの関係者の皆様の手に渡り、皆様を通してお客様に天草の物語が伝わっていくことを願っています。

このストーリーブックを手にとり取っていただいた来訪者の方々には、ぜひお持ち帰りいただき、天草地域のファンとなっていただくとともに、周りの方々に当地域の魅力を発信いただけると幸いです。

# 雲仙天草国立公園天草地域の概要

## (1) 自然の概要

天草諸島の地形は、天草松島、御所浦、獅子島及び長島などの内海多島海、牛深周辺、下島東海岸及び羊角湾などの沈降海岸、下島西海岸の海蝕海岸、並びに富岡の陸繋島など、多様な特色のある海岸景観を有しています。また、上島東海岸の山稜線は、断層崖地形による「観海アルプス」といわれる特異な景観を有しています。

地質は、全体として新生代の古第三系に覆われており、これを挟むように中生代の白亜系が東海岸及び西海岸に分布しています。御所浦島などの白亜系地層には、二枚貝などの化石が多く含まれています。

植生は、古くから薪炭林や坑木採取用として利用・更新されてきたため、シイ、カシの萌芽林が多く見られますが、これらの利用が行われなくなった現在では、本来の暖帯常緑広葉樹である照葉樹林に変わりつつあります。また、海岸には対馬暖流の影響を受けて、ミヤコジマツツラフジ、ハカマカズラ、ツルモウリカ、ハマジンチョウ及びグンバイヒルガオなどの暖地性植物が見られます。さらに、海岸斜面には、背の低いウバメガシ、ハマビワ、トベラ、シャリンバイ及びハマヒサカキなど、独特な海岸風衝林が見られます。

動物については、鳥類と海中のサンゴ類及び熱帯魚類が特筆されます。鳥類では、冬鳥としてナベヅルやマナヅル、留鳥としてカツオドリなどが見られます。また、天草西部の海中には、色鮮やかなサンゴ類やトサカ類、チョウチョウウオなどの熱帯魚類をはじめとする亜熱帯性の動物が豊富に見られます。これらの豊かな海中景観を保全するため、富岡、天草及び牛深は海域公園に指定されています。

## (2) 利用の概要

昭和40年代に天草五橋および黒之瀬戸大橋が開通し、九州本土と陸続きとなったことにより、車による利用が飛躍的に増加しました。利用形態としては、海岸景観の探勝やキリスト教史跡の探訪、海水浴、キャンプなど、海辺のレクリエーション利用が主となり、牛深の海域公園では、グラスボートによる海中景観の探勝利用も行われています。利用動線としては、熊本・鹿児島両県から国道が通っており、国立公園内の主要な利用拠点へは、ここから分岐して向かいます。

# ストーリーブックとは

このストーリーブックで紹介する「ストーリー」は、天草地域に存在する自然環境、暮らし、歴史、文化といった多様な資源がどのように成り立ち、どのような価値を持っているのかを分かりやすく伝えるためのものです。天草にある資源を個別に紹介するのではなく、背景や関係性を物語として整理することで、地域全体としての魅力や個性を伝えることを目的としています。

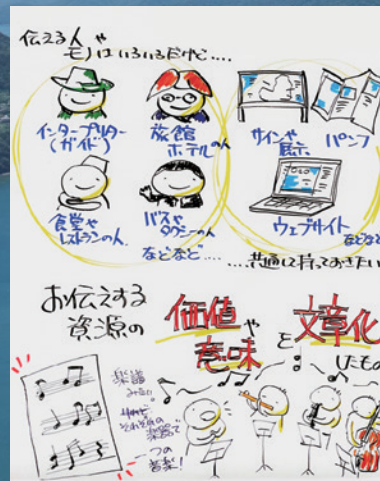
ストーリーは、主に地域の宿泊事業者、交通事業者、飲食店など、観光に関わる担い手が地域資源を正しく把握し、天草地域に誇りを持つための共通認識として位置づけられます。天草地域の魅力を統一的な言葉で理解・発信することにより、来訪者の満足度向上やリピーターの増加につなげていくことを期待しています。同時に、ストーリーブックは一般の方にも手に取ってもらえることを想定し、地域の魅力を知るきっかけとなる内容としています。

こうしたストーリーを、体験や解説を通して来訪者と共有し、理解と感動を促す手法のことを「インタープリテーション」と言います。インタープリテーションとは、国立公園や世界遺産、観光地などにおいて、地域の魅力や価値を来訪者と共有するためのコミュニケーションの手法です。自然環境や風景、文化財などが持つ固有の意味や背景を、来訪者の体験や関心に寄り添いながら伝えることで、来訪者と地域の大切な資源との間に特別なつながりを生み出します。

インタープリテーションの基本は、楽しい体験や魅力的な語りを通じて「その場所らしさ (Sense of Place)」を感じてもらうことにあります。ガイドツアーや体験プログラムに限らず、日常的な案内や何気ない会話、Web サイトや展示、印刷物、さらには料理やお土産、場のしつらえなど、さまざまな場面でストーリーを一貫して伝えることが大切です。

このストーリーブックは、インタープリテーションそのものを専門的に解説することを目的としたものではありません。地域の魅力ある資源を明らかにし、その理解を深める中で、観光事業者がそれぞれの立場や現場でストーリーを生かした伝え方(インタープリテーション)を実践できるようになることを意図しています。

ストーリーを共有することが地域内の連携を強め、来訪者にとって印象深い体験を生み出す土台となる、このストーリーブックはその第一歩となることを目指しています。



ストーリーとは？



インタープリテーションとは？

# 雲仙天草国立公園天草地域のストーリー

美しい多島海の景観や穏やかな海に代表される天草地域の自然景観は、誰もが直感的に楽しむことができます。しかし、その背後にある成り立ちや、人と自然が重ねてきた長い時間の物語は、眺めるだけでは見えてきません。大小120余りの島々が連なる天草諸島は、東シナ海・有明海・八代海という性質の異なる三つの海に囲まれ、潮流や光、水の色の違いが、変化に富んだ海景と豊かな生態系を育ててきました。干満差の大きな干潟、澄んだ外海、多島美が広がる内海。それぞれの海は、天草ならではの自然環境と漁場を形づくっています。

さらに天草の大地は、太古からの地殻変動と風化・侵食によって形づくられてきました。天草諸島各地で見つかるアンモナイトや恐竜の化石、天草上島東部に見られるケスタ地形、西海岸の陶石や石炭資源などは、大地の変動が繰り返されてきた証です。こうした地質と地形の変化は、景観を生み出すだけでなく、生き物の多様性や人の営みの基盤ともなってきました。

厳しくも恵み深い自然環境の中で、天草の人々は自然と対立するのではなく、折り合いをつけながら暮らしを築いてきました。海のリズムを読む漁の知恵、島ごとに育まれた食文化、海を通じてもたらされた交流と文化。禁教の時代を生き抜いた潜伏キリシタンの祈りを今に伝える崎津集落や、島民の願いによって架けられた天草五橋は、自然と共生しながら紡がれてきた人々の物語を象徴しています。

天草地域のストーリーは、①大地の隆起・沈降が生んだ景観、②海と水の循環が育む生態系と食文化、③自然と共に生きてきた人々の歴史・信仰・暮らし、という三つの視点を軸に作成しました。訪れる人々が、ただ美しい風景を「見る」だけでなく、その背景にある時間の重なりや価値を「知り」、天草とのつながりを深めていくことを目指します。このストーリーは、雲仙天草国立公園天草地域の多様な資源と体験を結び、未来へと受け継ぐための共通の指針となるものです。

# 天草地域の重要な資源

ストーリーづくりワークショップにて参加者から出していただいた資源をまとめています。

## 食

### 大地が育む食の恵み

- 梅肉ポーク
- 天草大王
- 天草黒牛
- 湯島大根
- からいも
- 赤土バレイショ
- オリーブ
- 松茸
- 柑橘類



- 高浜ブドウ
- 焼酎
- こっぴもち
- だご汁
- ちゃんぽん

### 海の幸

- 地魚
- ブリ「鱒王」
- 北大路魯山人も認めた「日本一のウニ」
- 養殖
- クルマエビ
- 伊勢エビ
- たこ
- 明石のタコを救った天草のタコ「蛸大王」
- ふぐ
- 鯛
- コノシロ
- カナガシラ



- マヒトデ
- わかめ、アオサ
- ちりめんじゃこ
- じゃこかりんとう
- ぶえんずし
- イカ塩辛
- 日本一の雑節



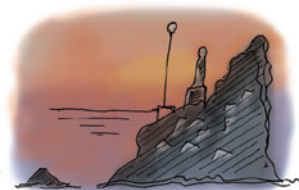
## 自然

### 海と生命が育む自然

- 広がる外海天草ブルー
- 順光で見える青い海
- 五感で感じる海の景色
- 日本で最初に指定された海域公園
- 海藻とサンゴが共生する境界である西海岸
- あまも場
- 砂月海岸
- 須賀無田海岸

### 風景

- 星
- 朝日・夕日
- 天草西海岸の大パノラマの夕日
- マリア様の夕日
- 天草夕陽八景
- オレンジロード
- カヤツ丸展望台



- 羊角湾
- 白鶴浜
- 永浦干潟
- 築ノ島
- 天草松島



### 地球の営みがつくる大地

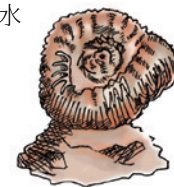
- 島原までつながる地層
- 地層がむきだし
- ケスタ地形
- 高浜変成岩
- 穴の口岩（ぞうさん岩）
- 妙見浦
- 下浦石
- だご石
- 鬼海ヶ浦
- 青の洞窟
- 伏魔洞
- 湯島（談合島）
- 樋合島（パールサンビーチ）

### 山地に息づく景勝地

- 倉岳
- 龍ヶ岳
- 千巖山
- 高舞登山
- 六郎次山
- 天草観海アルプスコース（九州自然歩道）
- 産島
- 次郎丸嶽、太郎丸嶽
- 千元森嶽



- 高空島
- 御所浦島
- 富岡の砂州と砂嘴
- 四季岬公園
- 白岩崎
- 恐竜
- ロマン温泉
- 牛深温泉
- 下田温泉
- 井戸水



- 白嶽
- 白嶽「不動の滝」
- 鶴葉山公園
- 西平椿公園
- 烏峠

# 生物

## 海の動植物

- イルカを筆頭にした豊かな海洋生態系
- 熱帯魚
- ワタリガニ
- ハクセンシオマネキ
- ウミガメ



- ウミホタル
- 海浜植物
- サンゴ礁
- トサカ類
- イソバナ類



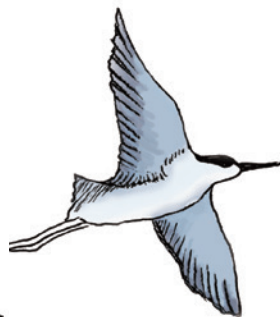
## 陸に生きる動物・昆虫

- アカハラダカ
- マナヅル
- ナベヅル
- カンムリウミスズメ
- カツオドリ
- ホタル
- ハッチョウトンボ



## 大地に生きる植物

- アイラトビカズラ
- ヒモヅル
- アマクサツチトリモチ
- 月桃
- ミズゴケ
- アマクサミツバツツジ
- ヤブツバキ
- ハマボウ
- ハマジンチョウ
- ヘゴ
- アコウの木



# 歴史文化

## 漁と暮らし文化

- 漁業の町
- 現在に遺る港町の町並み
- 釣り
- 仕切り網漁体験
- 底引網(手ぐり)
- 刺し網漁
- 素もぐり漁
- エビス様
- 赤巻
- 野草
- 倉岳めいどサロン



## 伝統と産業

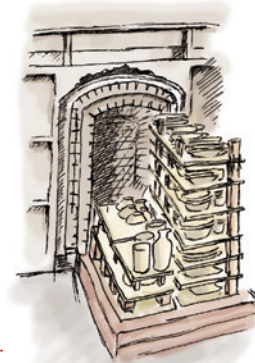
- 金性寺
- お姫様伝説
- 西海岸の各地で栄えた炭鉱
- 離島で培われた造船文化
- ハイヤ祭り
- ハイヤ節

## キリシタン文化

- 潜伏キリシタンの歴史
- 隠れ部屋
- マリア像に見立てたあわび
- 地形に守られた文化
- 崎津
- 鳥居越しに見える崎津教会

## 陶磁器文化

- 世界に誇る天草陶石と陶磁器文化
- 白磁
- 鬼池焼光窯の魚文皿



## 歴史文化財

- 棚底城
- 富岡城
- 観乗寺
- 御朱印
- 明神様
- 修験地
- 宮崎古墳
- 明智光秀の孫
- 天草四郎
- 紀行文「五足の靴」



# 天草地域を訪れる方に体験してほしいこと

ストーリーづくりワークショップにて参加者から出していただいた体験をまとめています。

## 食

- 漁業者の藻場（アマモ、ヒジキ）造成を知って、一緒に取り組んでほしい
- 泳いで、見て、釣って、さばいて、食べる 楽しいサバイバル体験をしてほしい
- 自分で釣った魚を食べてほしい
- 大ヶ瀬での沖磯釣り・磯遊びをしてほしい
- 天然・本物のうまみ（UMAMI）を体験してほしい
- 天草のウニを食べてほしい
- こっばもちをオーブントースターで焼いて食べてほしい
- 赤巻きを食べてほしい
- 牛深のおいしいお魚を食べてほしい
- 刺身盛りの1人前の常識の違いにびっくりしてほしい
- 雑節の出汁を使ってほしい
- とび入りで踊れるハイヤ祭りで魚や野菜が安く売ってるよ

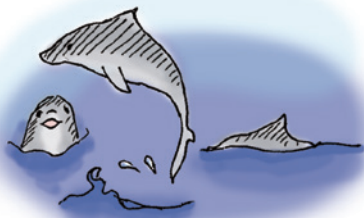


## 自然

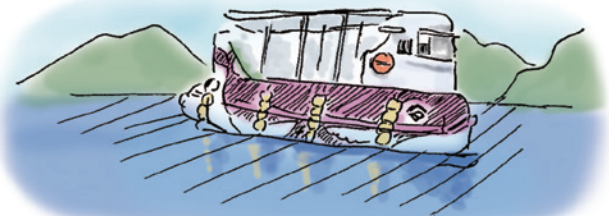
- 天草の水平線に沈む夕陽を見てほしい
- 海食崖の絶景をすべて巡ってほしい
- 澄んだ夜空の下で、満天の星空を味わってほしい
- 海岸で潮の満ち引きを体感してほしい
- 海風を感じながら、天草の自然の中を自転車で走る爽快感を味わってほしい
- 自然に囲まれた天草で、ゆったりとしたキャンプ時間を過ごしてほしい
- 森の上を滑空するジップラインで、非日常のスリルを体験してほしい
- 天草の豊かな海で、鯛釣り大会の熱気と楽しさを感じてほしい
- 太古のロマンを感じながら、化石採集に挑戦してほしい
- 海を望む観海アルプストレイルで、雄大な自然を満喫してほしい
- 九州自然歩道を歩いて、四季折々の天草の魅力を感じてほしい



## 生物



- 素潜りで珊瑚礁を見てほしい
- グラスボートで天然の水族館を体験してほしい
- 白鶴浜海水浴場で大きくてきれいな貝殻を探してほしい
- 海の生物とふれあえるダイビング、シュノーケリングをしてほしい
- 図鑑や水族館でしか見たことがない生物をじかに見て触れて、わくわくしてほしい
- 西平椿公園の中のよりそいの森で海の香りに包まれて、心を癒してほしい



## 歴史文化

- 天草式製塩土器で塩づくりを、土器をつくることからしてほしい
- 磁器の絵付け体験と手びねり体験してほしい
- 浜辺で陶片、砂浜の砂、石、貝殻、サンゴを材料に陶芸体験してほしい
- 天草陶石の採掘から体験してほしい
- 宴会でおざしきハイヤ体験をしてほしい
- とび入りで踊れるハイヤ祭りに参加してほしい
- 窯元の作家さんめぐりしてほしい
- 下田温泉へ入浴してほしい
- グーテンベルク活版印刷機のミニチュア版で印刷体験をしてほしい
- 地域に受け継がれる赤ちゃん相撲の、微笑ましい伝統に触れてほしい
- 昔ながらの炭焼き体験を通して、天草の暮らしの知恵を知ってほしい
- 歴史ある町並みを歩き、富岡町の文化と日常を感じてほしい



# 天草地域ならではの価値

天草を訪れた方と共有したい地域の魅力、お客様に伝えたい大切な価値を「ストーリー」として整理しています。天草にはたくさんの方がいますが、その中でも特に他地域には無く、天草を特徴づけている価値を紡ぎました。

それぞれの価値には、地域の景観や文化的資源に共通している考えや見え方を、端的な文章として記述しています。地域事業者の皆様と意見交換会を経てまとめた、お客様と共有したい天草ならではの価値は次のとおりです。

## 天草地域ならではの価値－1：大地の隆起・沈降が生んだ景観

- Ep.1 隆起と沈降が刻んだ天草の地層は、地球の歴史を今に伝えている。
- Ep.2 天草で見つかる海の生き物と恐竜の化石は、この場所が太古から生命あふれる海と陸であったことを今に伝えている。
- Ep.3 天草の山々は、眺望と人々の暮らしを映し出している。
- Ep.4 天草西海岸の陶石や石炭などの地下資源は、地殻変動がもたらした大地の変化が、人の営みへとつながった証である。
- Ep.5 天草の大地には、地形の変化に適応してきた多様な生き物たちが息づいている。



## 天草地域ならではの価値－2：海と水の循環が育む生態系と食文化

- Ep.6 性質の異なる三つの海が、天草ならではの多様な海景を生み出している。
- Ep.7 潮流と地形が織りなす多様な環境が、天草の海に豊かな生物の世界を育んでいる。
- Ep.8 穏やかな内海と荒々しい外海、陸海の循環が重なり合うことで、天草ならではの豊かな海の幸が育まれてきた。
- Ep.9 海のリズムを読み取り、自然と折り合う知恵が、天草の漁を持続可能な営みとしている。
- Ep.10 利用と保全を両立してきた人の営みが、天草の海を海域公園として未来へつないでいる。



## 天草地域ならではの価値－3：自然と共に生きてきた人々の歴史・信仰・暮らし

- Ep.11 入り組んだ海が良港を生み、船と唄が運んだ交流の歴史は、天草の暮らしと文化に受け継がれている。
- Ep.12 海と祈りに守られた天草で、暮らしに忍ばせた信仰が今も受け継がれている。
- Ep.13 天草の海と地形は、人と自然の歴史を現在に伝えている。
- Ep.14 天草五橋の開通は、島々を結び、島民の暮らしと意識に変化をもたらした。
- Ep.15 海に囲まれた島の気候や地形が、天草ならではの農作物と食文化を育ててきた。

天草地域ならではの価値－1：大地の隆起・沈降が生んだ景観

episode 1~5

天草地域ならではの価値－2：海と水の循環が育む生態系と食文化

episode 6~10

天草地域ならではの価値－3：自然と共に生きてきた人々の歴史・信仰・暮らし

episode 11~15



## 隆起と沈降が刻んだ天草の地層は、地球の歴史を今に伝えている。

### Story

天草の地形は、大地が隆起と沈降を繰り返しながら陸地化することで形づくられてきました。現在の陸地には、かつての海や川の底に堆積した地層が広く分布しており、太古の海や陸地に厚く堆積した地層やマグマ活動でできた岩石から成り立っています。




松島周辺に広がる多島海景観は、大地の傾動と海に面した硬い砂岩の侵食と風化により、大小の島々が点在する現在の姿が生まれ、天草を代表する地形のひとつとなっています。天草西海岸一帯では、古い変成岩石類の上に白亜紀から古第三紀にかけて形成された地層が重なっています。妙見浦に見られる穴の口岩（通称ぞうさん岩）は、断層と硬さの異なる地層が侵食を受けて残されたもので、地質構造と侵食作用の関係を示しています。天草上島の高杓島や倉岳、鹿児島県の長島は、マグマ活動によって生まれた岩石を主体とする島であり、天草地域における大地の活動の歴史を伝えています。

天草の風景は、地層、地殻変動、風化・侵食が複合的に関わり合って生み出されたものであり、景観そのものが土地形成の過程を今に伝えるとともに、地質環境の変化を理解するうえで重要な手がかりになっています。

### Keywords

多島海景観、高浜変成岩類、妙見浦、穴の口岩  
伏魔洞、高杓島、倉岳、長島



#### 【凡例】

-  S&A スポットの写真が撮影できる場所
-  S&A スポット住所
-  マップコード  
(カーナビで場所を特定できる番号コード)

### Spots & Activities



#### 高杓島

-  樋合海水浴場
-  372 722 876\*30

干潮時に樋合海水浴場から歩いて渡れる高杓島は、約 300 万年前のマグマ活動により生まれました。島の形の美しさから「天草富士」と呼ばれています。



#### 天草松島の地層

-  前島橋（4号橋）
-  372 696 360\*53

天草松島に点在する島々では、積み重なる地層をはっきりと観察することができ、古くからの大地の変化を感じることができます。



#### 鬼海ヶ浦

-  鬼海ヶ浦展望所
-  474 585 260\*82

海食崖と奇岩が連なる絶景地で、「日本の夕陽百選」に選定されています。海岸まで降りられる階段もあるため、西海岸の地層を間近で見ることができます。



天草で見つかる海の生き物と恐竜の化石は、この場所が太古から生命あふれる海と陸であったことを今に伝えている。

## Story

天草は、日本でも有数の化石が見つかる地域として知られています。白亜紀の地層が広く分布し、九州最大級のアンモナイトの化石をはじめとする貝類などの海の生き物の化石が数多く見つかっており、この地がかつて豊かな海であったことを物語っています。

天草では海の生き物だけでなく、恐竜の化石も見つかっています。日本で唯一、苓北町で発見されたティラノサウルス科の恐竜のあごの骨は、巨大な肉食恐竜がこの地を歩いていた証です。海の生き物と陸の恐竜、その両方の痕跡から、波打ち際のすぐ近くで、恐竜が息づいていた風景が思い浮かびます。

御所浦島や獅子島では、地域のルールに基づく化石採集体験を通して、訪れる人々が実際に岩石や地層を観察しながら太古の生き物の痕跡に触れることができます。天草に残された貴重な化石は、当時の環境や生態を読み解く手がかりとなり、この地に広がっていた白亜紀の生き物たちの世界を現在へと伝えています。

## Keywords

九州最大級のアンモナイトの化石、恐竜の化石、御所浦島、獅子島、化石採集体験

## Spots & Activities



### トリゴニア砂岩化石採集場

📍 天草市御所浦町御所浦古屋敷 4393  
☎ 254 025 133\*10

御所浦恐竜の島博物館の近くにある「トリゴニア砂岩化石採集場」では、約1億年前の白亜紀に生きていた貝やアンモナイトの化石探しを体験できます。



### 御所浦恐竜の島博物館

📍 天草市御所浦町御所浦 4310-5  
☎ 0969-67-2325  
☎ 254 025 085\*22

御所浦恐竜の島博物館は、恐竜の化石や天草の自然環境に関する展示が充実しており、約1億年前から現在に至るまでの生命の歴史を学べる施設です。



### 獅子島化石パーク

📍 鹿児島県出水郡長島町獅子島 2203-1  
☎ 906 075 316\*18

獅子島も御所浦島とともに日本有数の化石の産地となっています。獅子島化石パークでは手軽に化石の観察と採集体験ができます。



## 天草の山々は、眺望と人々の暮らしを映し出している。

### Story

有明海や八代海、遠くは阿蘇山を望む天草上島東海岸の観海アルプスは、白嶽をはじめ、高舞登山、金比羅山、龍ヶ岳などからなる山並みです。四季折々の大自然を楽しむことができ、九州自然歩道の一部としても親しまれています。

観海アルプスの山々や次郎丸嶽・太郎丸嶽などは、東側の切り立つ岩壁と西側の緩やかな斜面を持ち、山体を作る傾いた地層のうち軟らかい部分が削られ、硬い部分が残ったケスタ地形を示し、天草ならではのダイナミックな景観を作り出しています。

白嶽周辺には巨石群や湿地が広がり、ハッチョウトンボやアマクサミツバツツジなどの希少な生き物が息づいています。

また、天草諸島最高峰の倉岳は、古代から天草の人々に霊山として仰がれ、山頂には航海の安全を祈願して祀られた神社が建立されました。冬場、倉岳から棚底の集落に向かって吹き下ろす強風は「倉岳おろし」と呼ばれ、人々は家々を守るため防風石垣を築きました。

天草の山々からは、地形や自然と人々の暮らしの結びつきを望むことができます。

### Keywords

観海アルプス、白嶽、高舞登山、金比羅山、龍ヶ岳、九州自然歩道  
次郎丸嶽・太郎丸嶽、ケスタ地形、倉岳、倉岳おろし

## Spots & Activities



### 次郎丸嶽

📍 太郎丸嶽

📞 372 514 032\*24

九州百名山の一つで、兄の太郎丸嶽と並ぶ兄弟嶽です。優しい兄の太郎丸嶽が、弟に美しい夕陽を見せるため、崩れて低くなったという逸話があります。



### 九州自然歩道 観海アルプスコース

📍 白嶽湿地

📞 372 455 471\*76

上島東部の高舞登山から龍ヶ岳までを結ぶ約 20km のコースで、九州を一周約 3,000km で結ぶ九州自然歩道の一部になっています。



### 棚底集落

📍 天草市倉岳町棚底地区

📞 254 265 869\*73

天草諸島で最も広い扇状地に広がる集落です。倉岳おろしの風に備えた防風石垣や、こぐりと呼ばれる水路が暮らしを支えています。



天草西海岸の陶石や石炭などの地下資源は、地殻変動がもたらした大地の変化が、人の営みへとつながった証である。

## Story

約 8000 万年前、地下深くにあった岩石は、地殻変動の影響を受けて高浜変成岩類になりました。この地質環境のもとで、鉄分の少ない白色の陶石が生まれ、日本の白磁文化を支える天草陶石として広まりました。現在も有田焼や伊万里焼などの磁器に欠かせない原料として広く活用され、日本の磁器の原料の大半を占めています。また、福岡半島西部の白岩崎では、陶石の原岩となる流紋岩が海岸線に露出し、白く輝く独特な景観を見ることができます。

約 4500 万年前、湿地に繁茂した植物は泥炭となって堆積し、熱と圧力によって炭化しました。地層中の炭質層は後の地殻変動によって地表近くまで押し上げられ、下島一帯で無煙炭として採炭されました。熱量が高く煙の少ない無煙炭は、軍艦の燃料として特に重宝されたため、下須島西岸には烏帽子坑という海底炭鉱が作られ、100 年以上経った今でもアーチ形のレンガ積み坑口は当時の姿を留めています。

このように天草西海岸では、陶石や石炭などの豊富な地下資源を活かした人々の営みが見られます。

## Keywords

高浜変成岩類、白磁文化、天草陶石、白岩崎、無煙炭、烏帽子坑、地下資源

## Spots & Activities



### 天草陶磁器

天草陶石は日本の磁器原料の大半を占めており、白磁を中心に多様な窯元が特色ある器を生み出してきました。



### 天草西海岸

📍 天草市天草町下田北付近

☎ 474 616 813\*15

天草西海岸は、地殻変動が生んだ無煙炭と天草陶石が産業と文化を育み、今に伝える大地の歴史が息づく地域です。



### 烏帽子坑跡

📍 小森海岸駐車場

☎ 299 572 571\*34

明治時代に下須島西岸の沖合に築かれた海底炭鉱でしたが、湧水に悩まされ数年で閉山しました。現在もアーチ形レンガ積み坑口が残っています。



## 天草の大地には、地形の変化に適応してきた 多様な生き物たちが息づいている。

### Story

天草の自然は、地層が隆起と風化・侵食を繰り返しながら形づくられてきました。その中で森林や湿地、強い風にさらされる岩場など、多様な環境が生まれました。

山と海が近接する天草の地形は、生き物の移動にも影響し、ツルやアカハラダカなど多くの渡り鳥にとって重要な中継地となっています。

また、永浦干潟では、潮の満ち引きに合わせて活動する小さなカニ、ハクセンシオマネキがハサミを上下に動かして見るものを和ませます。森や岩場では、岩肌に残るわずかな土に強風に耐える植物が根を張り、岩の隙間にも植生が広がっています。西平椿公園のアコウの木は、巨大な岩石を力強く抱き込むように根を張り、その神秘的な姿から「天草のラピュタ」とも呼ばれています。

天草の動植物は、その場その場の環境に適応しながら定着、繁益してきたものであり、天草の多様な環境を象徴する存在となっています。

### Keywords

渡り鳥、永浦干潟、ハクセンシオマネキ、西平椿公園、アコウの木（天草のラピュタ）、ハッチョウトンボ

### Spots & Activities



#### アカハラダカ

📍 六郎次山

☎ 474 055 537\*22

天草一帯は、春と秋に多くの渡り鳥が行き交う飛行ルートとなっており、六郎次山や竜洞山では、9月頃にアカハラダカの渡りを見ることができます。



#### ハクセンシオマネキ

📍 永浦干潟

☎ 372 724 823\*32

永浦干潟はハクセンシオマネキの日本有数の生息地となっています。ハクセンシオマネキのオスのハサミは左右どちらかが大きくなることで知られています。



#### ハッチョウトンボ

📍 白嶽湿地

☎ 372 455 742\*12

白嶽湿地には、体長15mmほどの日本一小さいトンボ、ハッチョウトンボが生息しています。5月から10月にかけてその姿を見ることができます。



## 性質の異なる三つの海が、天草ならではの多様な海景を生み出している

### Story

北に有明海、東に八代海、西に東シナ海。天草諸島は、色と景観に個性をもつ三つの海に囲まれた全国でも珍しい場所です。

有明海は日本で最も干満差が大きい海として知られ、潮の満ち引きによって現れる干潟や浅瀬は、時間とともに海の色を変え、独特の景観を生み出します。八代海は天草諸島と九州本土に囲まれた穏やかな内海で、多島海ならではの奥行きのある風景が広がります。西側に開く東シナ海は外洋特有の澄んだ水と強い光を受けて、深く鮮やかな青が際立ち、開放感のあるダイナミックな海景をつくり出しています。

海岸には砂浜や岩礁などの様々な地形が広がります。茂串海岸や白鶴浜の白砂は、外洋の透明度の高い海と調和し、夏には海のレジャーを楽しむ人々ににぎわいます。海流が運ぶ砂礫によって砂州と砂嘴が形成された富岡半島は、地形そのものが海の動きを語る貴重な景観となっています。西海岸には大ヶ瀬に代表される岩礁帯が至るところで見られます。

天草諸島を囲む三つの海は、水の動きや色合い、景観が異なることにより、天草ならではの多様な海の表情を生み出しています。

### Keywords

有明海、八代海、多島海、東シナ海、茂串海岸、白鶴浜、富岡砂嘴、大ヶ瀬

## Spots & Activities



### 高舞登山

📍 高舞登山展望台  
☎ 372 668 217\*12

高舞登山からは、天草松島から島原半島にかけての有明海を望むことができます。「戦国時代に地元の武将が山頂で舞いを楽しんだ」という伝承からその名がつけられました。



### 龍ヶ岳

📍 龍ヶ岳山頂自然公園 展望所  
☎ 372 210 829\*40

龍ヶ岳からは、樋島や御所浦島、獅子島などが浮かぶ八代海を一望することができます。古くからこの地域で信仰されていた竜神が宿る山であったことからその名が付けられました。



### 茂串海岸

📍 茂串海水浴場  
☎ 299 720 423\*61

茂串海岸は東シナ海に面した白砂と透明な海が美しい浜辺です。名は鎌倉時代、馬の放牧を司った役職「牧司（もぐし）」に由来します。



## 潮流と地形が織りなす多様な環境が、 天草の海に豊かな生物の世界を育んでいる。

### Story .....

天草の海は、生き物にとって特別な環境です。潮流が速く、起伏に富んだ海底地形をもつこの海域では、栄養塩がかき混ぜられ、プランクトンが豊富に育ちます。その小さな命の集積が、多種多様な海洋生物を支える基盤となっています。

天草は温帯と亜熱帯の境界に位置し、対馬暖流により水温が高めな一方、内湾では冬に 15℃以下まで下がるため、温帯性の海藻と北限のサンゴが同じ海域で見られる全国でも珍しい環境が形成されています。下島周辺の海底には、サンゴが広がり、複雑な立体構造は熱帯魚を含む魚類やタコ、ナマコなどの無脊椎動物の隠れ家です。また、棚底湾などに点在するアマモ場は、稚魚や小さな生き物たちが成長する“命のゆりかご”として重要な役割を果たしています。

羊角湾のような穏やかな内湾では、入り組んだ海岸線と浅海域が連続し、干潟や砂浜、藻場が一体となった環境が保たれています。こうした場所には、底生物や貝類、甲殻類など多様な生き物が生息し、海と陸をつなぐ生命の集積地として、天草の海の生態系を支えています。天草の海に広がる多様な命は、潮流、地形、そして三つの海の性質が重なり合うことで、長い時間をかけて育まれてきました。

### Keywords .....

海洋生物、海藻、サンゴ、熱帯魚、棚底湾、アマモ場、羊角湾

### Spots & Activities



#### 海藻

天草西海岸は海藻とサンゴが共生する境界域となっています。また、天草各所には稚魚のすみかや産卵の場となるアマモ場も点在しています。



#### 熱帯魚

天草の海では、対馬暖流の影響により熱帯魚が見られます。色鮮やかな魚が岩礁やサンゴ周辺に集まり、海の豊かさを感じさせます。



#### 羊角湾

📷 マリア像の夕日展望デッキ付近  
☎ 474 200 283\*05

羊角湾は複雑に入り込んだリアス海岸となっており、貝類や甲殻類を中心として、希少な生物が数多く生息しています。

## Spots &amp; Activities



## 魚介類

- 📍 道の駅 上天草さんばーる
- ☎ 0964-58-5600
- 📠 372 845 740\*02 など

天草各地で多種多様な魚介類が水揚げされます。道の駅 上天草さんばーるなどの物産館や地元商店では新鮮な魚介類を購入することができます。



## 雑節

- 📍 道の駅 うしぶか海彩館
- ☎ 0969-73-3818
- 📠 299 663 796\*67 など

牛深では古くから節づくりが盛んに行われ、和食のだし文化を支えてきました。旨味の強さが評価され、家庭用だけでなくカップ麺のだしにも使われています。



## あおさ

- 📍 道の駅 うしぶか海彩館
- ☎ 0969-73-3818
- 📠 299 663 796\*67 など

あおさは、潮の流れが穏やかな天草の内海で育つ海藻です。磯の香りが豊かで、味噌汁や天ぷらにすると天草の海の恵みを感じられます。

穏やかな内海と荒々しい外海、陸海の循環が重なり合うことで、天草ならではの豊かな海の幸が育まれてきた。

## Story

有明海や八代海は、外海の荒波が入りにくく、波は穏やかでありながら、潮の満ち引きが大きい。そのため海水の入れ替わりが良く、魚介類が育ちやすい環境が整っています。九州山地に降った雨水は、長い時間をかけて地下に染み込んだ後、河川となり、ミネラルを含んだ状態で海へと流れ込み、安定した栄養環境をもたらしています。天草諸島の海には、年間を通して多様な魚が生息し、季節ごとに異なる海の幸を楽しむことができます。

岩礁や藻場が発達した海域では、根魚やウニ、伊勢海老などの魚介類が育ちやすく、これらの生き物は、豊富な餌と安定した水質の中で成長します。ブリやマダイもまた、内海と外海の影響を受ける天草周辺の海域で育ち、地域を代表する魚の一つとなっています。牛深では、サバやイワシなどを原料とした「雑節」の生産が行われ、生産量が日本一として知られています。

天草の海の幸は、地形や水の流れ、内海の穏やかさと外海の激しさをあわせもつ海の性質と陸から流れ込む豊富な栄養素など、いくつもの自然条件が重なることにより育まれてきました。

## Keywords

根魚、ウニ、伊勢海老、ブリ、マダイ、雑節



## 海のリズムを読み取り、自然と折り合う知恵が、 天草の漁を持続可能な営みとしている。

### Story

天草の漁は、自然と対立するのではなく、海のリズムに合わせて営まれてきました。天草西海岸では、昭和 30 年頃から「底引網（手ぐり）漁」が行われタイやヒラメなどを獲ってきました。産卵期となる夏には休業し、資源を守る工夫が続けられてきました。

宮地浦湾では、満潮時に湾を網で仕切り、潮が引いた後に魚を捕らえる「仕切り網漁」が約 60 年ぶりに復活しました。かつての知恵を現代に生かす取り組みです。

天草下島最南端の牛深は、三方を海に囲まれた天然の良港であると同時に、水深が深く大型の船が入港できることから、古くから物資流通の拠点になっていました。今も県内有数の漁業の町として、港町の景観とともに漁の文化が残っています。

天草各地で海洋環境に合わせた養殖業も営まれており、長島は日本一の養殖ブリの産地となっているほか、大矢野はクルマエビ養殖発祥の地として知られ、現在でも天草沿岸ではクルマエビの養殖が盛んです。福岡半島周辺や羊角湾などでは、色鮮やかなヒオウギ貝の養殖が定着しています。

このように、天草では先人たちの自然と折り合う知恵が受け継がれており、それぞれの海の特徴に合わせた様々な漁が営まれています。

### Keywords

底引網（手ぐり）漁、仕切り網漁、牛深、養殖（ブリ、クルマエビ、ヒオウギ貝など）

## Spots & Activities



### 仕切り網漁

📍 宮地浦湾

☎ 254 006 131\*84

仕切り網漁は、宮地浦湾で満潮時に湾口を網で仕切り、潮が引いた後に魚を捕らえる伝統漁法で、自然の潮の動きを生かした漁として約 60 年ぶりに復活しました。



### 牛深の漁港

📍 天草市牛深町

牛深港は、天草下島最南端に位置し、三方を海に囲まれた天然の良港です。古くから漁業の拠点として発展し、今も港町の景観とともに漁の文化が息づいています。



### クルマエビ

天草の豊かな海で育てられたクルマエビは、甘みと歯ごたえが特徴です。大矢野島はクルマエビ養殖発祥の地として知られています。



## 利用と保全を両立してきた人の営みが、天草の海を海域公園として未来へつないでいる。

### Story .....

天草の海には、利用するだけでなく、守りながら受け継いできた歴史があります。潮流が速く、入り組んだ海岸線と起伏に富んだ海底地形を持つ天草の海は、生物多様性の高い海域です。ただし、漁業や開発、観光など人間の活動の影響を受けやすく、環境の変化が生態系に及びやすいという特徴もあります。

国はこの貴重な海の価値を将来に残すため、国立公園内に日本初の海域公園（当時は海中公園）を指定し、富岡、天草（大ヶ瀬周辺）、牛深の海域を保全の対象としました。

海域公園は、自然を利用しない場所ではありません。動植物の採取規制を行わず、開発行為のみを規制することができるため、漁業と自然保護の両立が可能となっています。天草でも、牛深海域公園周辺ではグラスボートの遊覧やダイビングが行われており、海上からも海中からも美しい海の景観を楽しむことができ、大ヶ瀬周辺では漁や磯釣りが盛んに行われています。

人々の手により守られ、適切に活用されてきた天草の海は、今も多くの生き物を守り、訪れる人々を楽しませています。

### Keywords .....

日本初の海域公園、富岡海域公園、天草海域公園、牛深海域公園、グラスボート、ダイビング

## Spots & Activities



### 富岡海域公園

📍 富岡海域公園展望所

☎ 713 063 191\*37

白岩崎地先及びつつま瀬周辺が富岡海域公園として指定されています。対馬暖流の影響で特に海藻類が多く、トサカ類やイソバナ類などが海中を彩ります。



### 天草海域公園（大ヶ瀬）

📍 西平椿公園

☎ 474 342 206\*33

大ヶ瀬は天草沖の岩礁帯で、潮通しが良く多様な魚が集まります。国立公園で特に景観上重要な「特別保護地区」に指定されています。



### 牛深海域公園

📍 鶴葉山公園

☎ 299 545 711\*48

築の島地先や法ヶ島南部、大島周辺など計9カ所が牛深海域公園として指定されています。テーブルサンゴの群落や数多くの熱帯魚類が生息しています。



## 入り組んだ海が良港を生み、船と唄が運んだ交流の歴史は、天草の暮らしと文化に受け継がれている。

### Story

沿岸に広がる入り組んだ地形は、外海の荒波を避けられる天然の良港を数多く生み出し、古くから海上交通の要衝として人と物の往来を支えてきました。

16世紀には、長崎を中心に広がった南蛮文化の波及により、海上交通を通じて天草にも新たな文化がもたらされました。天正遣欧少年使節団に象徴される人々の往来もあり、学問や音楽、活版印刷などの新しい知識や技術が伝えられました。港町は外の世界と地域をつなぐ窓口として、天草の暮らしや文化の形成に影響を与えました。

また、海とともに生きる中で育まれた文化の一つが、「牛深ハイヤ節」です。船乗りによって各地へ伝えられたこの唄は、全国に四十ほどあるハイヤ系民謡の源流とされ、「元祖ハイヤ節」として知られています。牛深の人情やもてなしの心を伝える文化として広がり、現在も祭りや踊りとして受け継がれています。

天草の港文化や芸能は、単なる人の営みではなく、地形や海と深く結びついて生まれたものです。自然を読み取り、活かしてきた人々の知恵と行動が、天草ならではの暮らしと文化を形づくってきました。

### Keywords

天然の良港、南蛮文化、天正遣欧少年使節団、活版印刷、牛深ハイヤ節（元祖ハイヤ節）

## Spots & Activities



### 各地のフェリーターミナル

中田港や牛深港、富岡港などは、天草の海上交通を支えてきた港で、交易や人の往来の拠点として地域の暮らしと文化を支えてきました。



### ハイヤ節

牛深発祥のハイヤ節は全国のハイヤ系唄の源流です。方言で「南風」を「ハエンカゼ」と言っており、「ハエ」が「ハイヤ」となったと言われています。



### コレジヨ館

📍 天草市河浦町白木河内 175-13  
☎ 0969-76-0388  
📠 474 235 363\*62

コレジヨ館は、南蛮文化やキリシタン教育の歴史を伝える施設で、天草における学問と文化交流を紹介しています。



## 海と祈りに守られた天草で、暮らしに忍ばせた信仰が 今も受け継がれている。

### Story .....

天草諸島は豊かな漁場に支えられた人々の暮らしの中で、信仰と生活が深く結びついた、独自のキリスト教文化を育ててきました。

江戸時代の禁教令の後、人々は信仰を表に出すことを許されず、「潜伏キリタン」として生きる道を選びました。表向きは仏教徒や神徒を装いながら、家の奥や天井裏で祈りを捧げ、漁で得られるアワビやタイラギの貝殻を聖母マリアに見立てるなど、暮らしの身近な素材に祈りを託しながら、独自の信仰を守り続けました。明治になり禁教が解かれると、潜伏キリタンはカトリックに復帰するとともに天草へも宣教師が派遣され、あらためてカトリックの布教が行われるようになります。フランス人宣教師ガルニエ神父は孤児院の運営にも尽力し、私財を投じて大江教会を建てました。

また、かつて「絵踏み」が行われていた場所にハルブ神父により崎津教会が建てられました。畳敷きの教会は、和の暮らしとキリスト教の祈りが溶け合った全国でも珍しい建物です。椅子ではなく畳に座って祈るという、日本の暮らしに寄り添った信仰のあり方を象徴しています。

稀有な形で信仰を継承した崎津集落の文化的景観は、世界でも稀な信仰のかたちとして評価され、世界文化遺産に登録されました。

### Keywords .....

キリスト教文化、潜伏キリタン、大江教会、崎津教会、崎津集落、世界文化遺産

## Spots & Activities



### 大江教会

📍 天草市天草町大江 1782

☎ 474 314 012\*01

明治の禁教解禁後、フランス人宣教師ガルニエ神父が信徒と共に建立した教会です。丘の上に建ち、天草における信仰復活の象徴として知られています。



### 崎津教会

📍 天草市河浦町崎津 539

☎ 474 228 071\*82

鉄川与助によって設計され、フランス人宣教師ハルブ神父により、キリタン弾圧の象徴である絵踏みが行われた庄屋吉田家跡に建てられました。



### 崎津集落

📍 天草市河浦町崎津付近

☎ 474 228 519\*07

禁教期に潜伏キリタンが信仰を守り続けた漁村であり、仏教・神道と共存する独自の信仰文化が評価され、世界文化遺産に登録されています。



## 天草の海と地形は、人と自然の歴史を現在に伝えている。

### Story

海によって隔てられた島々と、入り組んだ海岸線を持ち山々が連なるこの地は、人々の往来を妨げながらも、ときに集い、結びつく場となってきました。

江戸時代初期、天然の良港と高台を生かして富岡城が築かれ、天草統治の拠点が置かれました。富岡は長崎方面とも海上で結ばれ、西国の拠点であった長崎奉行所と往来できる要衝として機能しました。

その後、重い年貢や信仰をめぐる苦難の中で起こった島原・天草一揆では人々は海を越えて呼応し、天草四郎を旗印として、祈りと願いを重ねたと伝えられています。湯島（談合島）には島原と天草の人々が集まり軍議を行ったという語りが残り、千巖山（手杓子山）にも出陣を前に杯を交わしたという伝承が受け継がれています。

やがて明治時代、与謝野鉄幹をはじめとした5人の文豪たちは大江教会のガルニエ神父を訪ねる旅の途中で西海岸を歩き、その体験を紀行文「五足の靴」に記しました。そこに描かれたのは、防ぐためでも治めるためでもない、海と集落、暮らしが織りなす風景としての天草です。

人と自然の関わりは、城跡や島々、海の眺めといった国立公園の景観の中に現在まで受け継がれています。

### Keywords

富岡城、島原・天草一揆、天草四郎、湯島（談合島）、千巖山（手杓子山）、五足の靴

## Spots & Activities



### 富岡城跡・富岡ビジターセンター

📍 苓北町富岡 2245-15  
☎ 0969-35-0170  
📠 713 093 059\*86

天然の良港と急斜面に守られ、天草の行政の中心となっていました。本丸跡に建てられた富岡ビジターセンターでは、天草の自然・歴史・文化を紹介しています。



### 天草四郎ミュージアム

📍 上天草市大矢野町中 977-1  
☎ 0964-56-5311  
📠 372 845 654\*63

島原・天草一揆を率いた天草四郎の生涯と時代背景を、映像や資料で分かりやすく紹介する歴史体験型ミュージアムです。



### 五足の靴遊歩道

📍 天草市天草町下田北付近  
📠 474 615 175\*05

与謝野鉄幹・北原白秋らが紀行文「五足の靴」で描いた道をたどる遊歩道です。天草の自然と文学の記憶に触れます。



## 天草五橋の開通は、島々を結び、 島民の暮らしと意識に変化をもたらした。

### Story .....

昭和 41 年、天草五橋が開通し、海に隔てられていた島々は陸路で結ばれました。建設を後押ししたのは、島民の長年の願いと「1 円募金」に象徴される住民の強い熱意でした。

橋の誕生によって、船に頼っていた移動や物流は大きく変化し、通学・通院や物資輸送の利便性が高まり、暮らしの安全性も向上しました。

さらに、橋が架かる松島周辺の多島海景観は、国立公園ならではの魅力として人々を惹きつけています。高舞登山や千巖山から望む五橋と島々の景観は、天草を象徴する風景として広く知られ、様々な映像や広告にも用いられてきました。

天草五橋は、自然がつくり出した天草の地形を結ぶ、人々の暮らしに重要な交通基盤です。その整備は産業や観光の発展を支え、人々の暮らしや文化のあり方に継続的な影響を与えてきました。現在も自然環境と人の営みを結びつける象徴的な存在です。

### Keywords .....

天草五橋、高舞登山、千巖山、シーカヤック、天草五橋クルーズ

### Spots & Activities



#### 大矢野橋 (2号橋)

☎ 372 755 058\*18

大矢野島と永浦島を結ぶ鋼アーチ橋で、海上景観と交通を支える重要な橋として昭和 41 年に建設されました。地域観光の象徴的存在として現在も人々に親しまれています。



#### 天草ビジターセンター

📍 上天草市松島町合津 6311-1

☎ 0969-56-3665

☎ 372 726 335\*33

天草五橋の 2 号橋と 3 号橋が架かる永浦島にある国立公園の利用拠点施設です。敷地内には天草五橋開通に尽力した森國久の像が建てられています。



#### シーカヤック

📍 上天草市松島町合津 6215-17

☎ 372 666 760\*76

島々に囲まれた穏やかな海を進み、3 号橋や 4 号橋を下から眺めながら、島々に上陸することができます。mio camino AMAKUSA で受け付けています。



## 海に囲まれた島の気候や地形が、 天草ならではの農作物と食文化を育てきた。

### Story

山と海が近い地形や潮風、温暖な気候といった自然条件のもとで、人々の暮らしと食文化が育まれてきました。天草の島ごと、集落ごとに異なる環境は、作物の育ち方や味わいに違いをもたらし、その土地ならではの食を生み出しています。

湯島では、潮の影響を受ける気候と玄武岩由来の赤い土壌によって、大根が大きく育ちます。この大根は湯島大根と呼ばれる希少な大根で、湯島以外では同じように育ちにくいとされ、土と気候が食を育てていることを実感できる存在です。

長島の赤土の畑と温暖な気候を生かして栽培されてきた赤土ばれいしょは、ほくほくとした食感と風味のよさが特徴で、日々の食卓を支える身近な食材として定着しています。

また、温暖な気候と水はけが良く日当たりの良い斜面は、柑橘類の栽培に最適です。あまくさ晩柑や不知火など、天草各地で1年を通してさまざまな柑橘類が栽培されています。

天草諸島ではこうした自然条件と人の営みが結びついた風景が多く見られます。山と海が近接する環境は、農業や漁業といった生業を支え、島ごとの個性をもつ食文化を育ててきました。

### Keywords

湯島大根、赤土ばれいしょ、あまくさ晩柑、不知火

### Spots & Activities



#### 赤土ばれいしょ

長島の温暖な気候とミネラルを豊富に含んだ赤土で育てられるじゃがいもで、甘さが強く、ほくほくとした食感が特徴です。



#### 柑橘類

天草では温暖な気候を生かし、多種多様な柑橘類が栽培されています。ほど良い酸味とジューシーさが特徴の「あまくさ晩柑」や濃厚な甘みを楽しめる「不知火」などがその代表です。



#### こっぱ餅

天草や鹿児島で親しまれる郷土菓子の、さつまいもと餅米、黒砂糖を蒸して作る甘さが特徴です。家庭の味として親しまれています。



#### 赤巻

渦巻き模様が特徴の菓子の、かつては漁師の体力消耗を補う「船上食」でした。洋菓子のような見た目ですが、砂糖と卵を使ったやさしい甘さが特徴の和菓子です。

# ストーリーブックの使い道

地域の皆様と一緒に作り上げたこのストーリーブックが、日々の仕事や暮らしの中で生かされ、天草らしい体験や価値がより多くの人に伝わっていくことを願っています。そのため、関係者の皆様には、このストーリーブックの役割を理解していただいたうえで、実際の現場で活用し、天草らしい体験や価値をより多くの人に伝えてほしいと考えています。

## 1. ストーリーブックが担う役割

### ① だれもが「語り手」になれる

このストーリーブックは、特定の専門家だけのものではありません。天草に住むひとりひとりが、自分なりの言葉で地域を語る「語り手」になっていくための土台として使ってください。タイトルごとに背景を知れる構成を生かし、伝えるための引き出しを増やす“ネタ帳”として活用していただきたいと考えています。

### ② 学びの場で使う（活用と保全へ）

自然資源の活用と保全を両立させるため、人材育成やガイド同士の学びあいの場で活用してください。ストーリーを読むだけでなく、「どう伝えれば相手に届くのか」を考え、実践するための教材として使うことを想定しています。

### ③ 「持ち歩けるネタ帳」として使う

現場で必要なときにすぐ開けるよう、「持ち歩けるネタ帳」のような感覚で活用してください。接客や案内の合間に、ふと立ち返るための道具としての利用を想定しています。

## 2. 現場での使い方（お客様と向き合う皆さまへ）

直接お客様と接する方にはお客様からの質問への回答や、何気ない会話の中で、天草らしさ（天草ならではの価値）やその楽しみ方をお伝えし、天草に来なければ味わえなかった時間や感動を持ち帰っていただくご案内をしていただきたいと考えています。

### ガイド・インタープリターの方

ストーリーブックを地域の共通認識として育てていくため、ガイドツアーや体験プログラムを通じて、天草の魅力をより深く伝えるためのツールとして活用していただきたいです。ストーリーの背景にある資源の大切さも共有し、環境や文化の保全・継承につなげることを目指します。

### 宿泊施設（ホテル、旅館、民宿、キャンプ場など）の方

旅先での宿泊は、お客様の旅の中で重要な要素を占めます。宿泊施設で滞在しながら、どこに向かうか次の旅程を考えるお客様もいらっしゃいますので、総合案内、旅のコンシェルジュのように、お客様に天草らしさをお伝えしていただきたいと考えています。

### 飲食店や料理人、観光施設、お土産物店・交通事業者の方

料理やしつらえ、施設内の展示や案内板、お土産やそのパッケージ、お客様を運ぶ車内の掲示や会話など、お客様に接する際に、天草ならではの背景やストーリーを伝え、お客様の体験に深みを持たせてほしいと考えています。

### 行政、観光協会、観光案内所の方

ハード・ソフトにかかわらず各事業者やお客様に関わるすべての関係者が地域全体の方向性を検討する際の共通基盤として活用し、事業者や住民への説明・発信を分かりやすく行うための資料として活用していただきたいです。また、施策検討や官民連携を進めるための土台としての活用を想定しています。

# 環境省が実施している保全・利用の取り組み

環境省では、国立公園の景観と生態系の保全及び国立公園を利用した地域活性化のため、様々な取り組みを実施しています。

景観と生態系の保全の取り組みとしては、園路の維持管理や希少な動植物の保護などを行っています。

天草地域では、天草上島の千巖山や高舞登山、天草下島西海岸の各地で、除草作業や漂着物・廃棄物の回収・廃棄などを行っています。また、他の地域には生息していない希少な動植物も確認されているため、希少種保護のための基礎的な調査や生息地保全の取り組みも実施しています。

そのほか、天草の自然環境に興味を持った方々が集まった「天草自然公園ボランティア協会」や環境省で登録を行っている「パークボランティア」など、地域住民との連携も図りながら、海岸の美化活動や自然観察会等にも取り組んでいます。

そして、国立公園を適切に利用した地域活性化のため、優れた自然を守りながら、地域資源として活用を進めることにより、効果的な保護にもつなげる「保護と利用の好循環」の実現を図る取り組みも行っています。国立公園はただ自然環境を保全する場ではなく、適切な利用によって来訪者に感動体験を提供する場でもあります。天草ならではの価値や魅力を改めて整理したこのストーリーブックも、当地域に適した形で「保護と利用の好循環」を実現していくための基礎資料としてこれから活用していきます。

国立公園に訪れた皆様には、これからも長きにわたって国立公園を多くの方に楽しく心地良く利用していただくため、国立公園内では自然環境を大切にすることを心がけ、動植物の採取や捕獲、野生動物への餌付け等を行わず、そっと見守っていただければと思います。



雲仙天草国立公園天草地域 Story Book  
2026年3月版

発行：環境省九州地方環境事務所天草自然保護官事務所  
〒863-0014 熊本県天草市東浜町 10-1  
TEL 0969-23-8366

